

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（様式2号の1関係）

設置者名 学校法人Adachi学園

学校名 ビジュアルアーツ専門学校

学科名	実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時間数	実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)をホームページにて公表している場合のホームページアドレス ※1クリックで授業計画(シラバス)が確認できるアドレスを記載してください。
写真学科	フォトテクニック	60	160	https://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/2019_school_ver2.pdf
	基礎演習	60		
	デジタル実習2	60		
	写真学科 合計	180		
マスコミ編集学科	フォトテクニック	60	160	https://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/2019_school_ver2.pdf
	基礎演習	60		
	エディトリアル	60		
	マスコミ編集学科計	180		
マスター学科	デジタル実習2	60	80	https://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/2019_school_ver2.pdf
	エディトリアル	60		
	マスター学科計	120		
放送・映画学科	基礎演習	60	160	https://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/2019_school_ver2.pdf
	表現演習	60		
	制作実習	90		
	放送・映画学科 合計	210		
音響芸術学科	専攻実習1	60	160	https://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/2019_school_ver2.pdf
	基礎技術（通年）	120		
	音響芸術学科 合計	180		
映像音響学科	基礎技術1	60	160	https://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/2019_school_ver2.pdf
	専攻技術1	60		
	専攻実習1	60		
	映像音響学科 合計	180		
ミュージシャン学科	アンサンブル（通年）	60	160	https://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/2019_school_ver2.pdf
	作編曲講座（通年）	60		
	DAW ADVANCE（通年）	60		
	ミュージシャン学科計	180		
声優学科	言語表現実習(通年)	60	160	https://www.visual-arts-osaka.ac.jp/pdf/2019_school_ver2.pdf
	舞台演習(通年)	120		
	声優学科学科計	180		

ビジュアルアーツ専門学校 実務経験のある教員プロフィール

学科名	担当授業	講師名	専門分野	略歴
写真学科	フォトテクニック 基礎演習	鍛冶谷直記	写真作家	本校卒業後、写真店勤務の傍ら作品制作を続け、2002年第25回写真新世紀にて優秀賞。2014年東京都写真美術館「日本の新進作家 vol.2」に選出、蒼穹舎から初の写真集「JPEG」を出版。フリーランスカメラマンを経て2017年より本校専任講師。作家活動の経験から写真で表現することを教授している。
写真学科	デジタル実習2	太田 光昭	グラフィックデザイナー	フォトグラファー・グラフィックデザイナーとして、多くの制作を手掛ける。写真/デザインの垣根を超えた活動で得た知識と技術を教授する。また写真作家として、個展・グループ展多数。近年では京都での大規模なグループ展「How are you, PHOTOGRAPHY?展」に毎年出品し、継続的な活動を行う。
マスコミ編集学科	フォトテクニック 基礎演習	鍛冶谷直記	写真作家	本校卒業後、写真店勤務の傍ら作品制作を続け、2002年第25回写真新世紀にて優秀賞。2014年東京都写真美術館「日本の新進作家 vol.2」に選出、蒼穹舎から初の写真集「JPEG」を出版。フリーランスカメラマンを経て2017年より本校専任講師。作家活動の経験から写真で表現することを教授している。
マスコミ編集学科	エディトリアル	太田 光昭	グラフィックデザイナー	フォトグラファー・グラフィックデザイナーとして、多くの制作を手掛ける。写真/デザインの垣根を超えた活動で得た知識と技術を教授する。また写真作家として、個展・グループ展多数。近年では京都での大規模なグループ展「How are you, PHOTOGRAPHY?展」に毎年出品し、継続的な活動を行う。
マスター学科	デジタル実習2 エディトリアル	太田 光昭	グラフィックデザイナー	フォトグラファー・グラフィックデザイナーとして、多くの制作を手掛ける。写真/デザインの垣根を超えた活動で得た知識と技術を教授する。また写真作家として、個展・グループ展多数。近年では京都での大規模なグループ展「How are you, PHOTOGRAPHY?展」に毎年出品し、継続的な活動を行う。
放送映学科	基礎演習	柴田 誠	ドキュメンタリー映画 監督	西宮冷蔵の牛肉偽装告発事件の後を追ったドキュメンタリー映画「ハダカの城」を2007年に製作、劇場公開。映画の企画から撮影、編集、公開までの実務経験から得た生きた知識と技術を教授する。
放送映学科	表現演習 制作演習	高木 駿一	映像ディレクター	2008年、大阪映像文化振興事業CO2助成による映画『都会の夢』で初長編監督を務める。その後、フリーの映像ディレクターとしても活動。現場での実務経験から生きた知識と技術を教授する。
音響芸術学科	専攻実習1	岩崎 真	舞台監督	ホール管理や野外PAなどの現場を中心に活動。音響だけでなく舞台大道具や舞台監督として数々の催しに関わる。ロックだけでなく演歌やアカペラ、ジャズなど様々なジャンルのライブに携わる。また音楽だけでなく演劇の音響などにも参加し、幅広く活動。
音響芸術学科	基礎技術	泉 卓爾	PAエンジニア	NANIWA EXPRESS を始めとする、関西JAZZ界から絶大な信頼を得ているPAエンジニア。ライブ・コンサートなどの音楽系PAを得意とし、関西を中心に活動を行っているが、東京や地方のライブハウスを巡るツアーなどで活躍している。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
映像音響学科	基礎技術1	北嶋世輝	サウンドデザイナー	本校卒業後、株式会社プロジェクト80に所属。報道・情報・スポーツ番組ドキュメンタリーの音響効果を担当する。その後独立し、サウンドデザイナーとして楽曲制作・サウンドデザイン(音の空間演出)をフュージョンブランド他から依頼を受けインсталレーションを作る。実務経験を活かした実践的授業を行う。
映像音響学科	専攻技術1	塚本 武	サウンドエンジニア	フリーランスのサウンドデザイナーとして、大阪府のキャンペーンビデオ、大型商業施設などの音響デザイン、BGM音楽の制作などを手掛ける。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
映像音響学科	専攻実習1	杉本 稔	作曲家	数々のBANDで国内外のライブツアーや作品リリースに精力的に参加、バンド経験をいかした多彩なサウンドプロデューサーとしてHIPHOP、REGGAE、EDM、アイドル、CMソングなど、コアなアーティストからメジャーまでボーダーレスで制作、クリエイティブなトータルプロデュース活動を行っている。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
ミュージシャン学科	アンサンブル	鈴木 健太郎	ボーカリスト	関西を中心にシンガーとして活躍中。ポップス、コスベルなど様々なジャンルの音楽に携わり、アーティストのバックコーラスなども務めている。その他、CMソング、ラジオジングルに参加。
ミュージシャン学科	作編曲講座	持永 修	ギター演奏者	21歳でヤマハ ポピュラーミュージックスクールギター講師の資格を取得。インストラクター、ミュージシャンとしてギター講師、アーティストサポート、商業音楽制作等の仕事をこなしつつ、「ガミン」「メテオライトヒストリー」等のバンド活動もしている。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
ミュージシャン学科	DAW ADVANCE (通年)	杉本 稔	作曲家	数々のBANDで国内外のライブツアーや作品リリースに精力的に参加、バンド経験をいかした多彩なサウンドプロデューサーとしてHIPHOP、REGGAE、EDM、アイドル、CMソングなど、コアなアーティストからメジャーまでボーダーレスで制作、クリエイティブなトータルプロデュース活動を行っている。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
声優学科	舞台演習 (通年)	生田 朗子	俳優	劇団五期会から劇団「リリパットアミーII」に参加。2008年「罪と、罪なき罪」公演を最後にリリパットアミーIIを退団。劇団ひまわりで長く講師を務め、演出も手がけている。「関西一きれいな大阪弁」を話すことが出来る。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。
声優学科	言語表現実習	西村 寿一	ナレーター	声優、フリーアナウンサー。芸能事務所(株)アイランドプロモーション所属タレントとして活動後、個人事務所を設立。ゲーム「ストリートファイター」など声優としても多数出演。現場での実務経験で得た生きた知識と技術を教授する。

添付書類b 実務経験のある教員による授業科目の授業計画書

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園) 授業計画(2020年度申請分)

2020年6月29日

2020年度		写真学科		フォトテクニク		鍛冶谷 直記 実務経験者	
種類		単位数	授業概要	撮影機材のしくみ、使用方法を学習し、写真業界における知識とスキルを身につける。			
実習授業		4		撮影の基礎から応用まで、実際の現場で対応できる知識と技術を習得する。			
週	月日	15週	到達目標	出席状況・受講姿勢・提出物・試験による			
		成績評価の 授業項目	授業内容		備考		
1		後期導入	講師紹介・後期授業の説明・前期授業の復習				
2		デジタルカメラ講義	デジタルカメラの高度な設定(RAW・色空間などを学ぶ)				
3		デジタルカメラ実習	デジタルカメラの高度な設定(前週で学んだ内容を実習)				
4		大判カメラ講義	大判カメラの使用法(4x5カメラの仕組みを学ぶ)				
5		大判カメラ実習	大判カメラ撮影実習(4x5カメラを用いて撮影を行う)①				
6		大判カメラ実習	大判カメラ撮影実習(4x5カメラを用いて撮影を行う)②				
7		ストロボ撮影実習	ストロボ撮影(多灯撮影・ハイスピードシンクロなど)				
8		ストロボ撮影実習	ストロボ撮影(前週で学んだ内容を実習)				
9		接写・複写実習	接写・複写(露出倍数・接写複写時の注意点を学ぶ)				
10		企業見学	PDAギャロップ見学(デジタルカメラの修理・カスタムを行うプロサービスファクトリーを見学します)				
11		まとめの実習	いままで学んだ知識・技術を用いてさまざまな方法で撮影を行う				
12		総まとめ講義	フォトマスター検定 模試(2級にチャレンジ)・答案解説				
13		後期末課題	課題製作				
14		後期末課題	課題製作				
15		試験	試験・課題提出、発表など				

備考

※PDAギャロップ見学の日程は変更になる場合があります。

2020年度		写真学科		基礎演習	担当: 鍛冶谷 直紀	
種類		開講期	授業概要 到達目標	実務経験者		
実習授業		前期		体験や発見を写真でいきいきと表現できる		
		単位数				
		4				
		15週				
		使用機材 ソフト	フィルム一眼レフカメラFM3A、デジタル一眼レフカメラ			
		判定方法(試験)	出席率と課題、授業態度などを総合的に判断する			
週	月日	授業項目	授業内容		備考	
1		撮影導入	一眼レフの操作説明、スナップショットについて 撮影実習: お初天神(モノクロ1本~)			
2		撮影実習	GW写真帖説明、ポートレートについて 撮影実習: アメ村・なんば(モノクロ2本~)		西梅田一なんば一四ツ橋 片道¥230	
3		編集導入	GW写真帖プロセスチェック、授業1,2のまとめ			
4		編集実習	GW写真帖プロセスチェック			
5		野外演習	休日ロケ(神戸まつり) 集合 11:30@花時計前		交通費自費	
6		GW写真帖のまとめ	GW写真帖を鑑賞し一行で簡潔に感想を伝える 授業1~5までのモノクロ鑑賞			
7		人々の暮らしの中へ	撮影実習: 今里or新世界		西梅田一今里 片道¥280 梅田一動物園前 片道¥230	
8		チャレンジウィーク				
9		モノからの語りかけ(中判)	中判カメラ使い方説明、質感描写、ランドスケープについて、撮影実習: 天王寺動物園界隈(ブローニー2本~)		梅田一動物園前 片道¥230 入園料学校負担	
10		ルポルターージュについて	写真集(世界)感想提出、撮影実習: 鶴橋		大阪一鶴橋 片道¥180	
11		プロセスチェック	夏休み写真帖の説明、L判とコンタクトシート提出 写真集(日本) 感想提出			
12		前期の総まとめ	夏休み制作企画書計画提出、A4・モノクロ六切 組写真講評			
13		試験週				
14		前期末課題①				
15		前期末課題②				

備考

--

2020年度		写真学科		デジタル実習2		太田 光昭 実務経験者	
後期		単位数 4	授業概要	Adobe Camera Raw, Capure One, Lightroomの基本的な操作方法を修得しRaw現像処理を学ぶ。Adobe Photoshopでの様々な合成方法を学ぶ。			
実習授業		15週	到達目標	デジタルワークの基礎を身につけ、美しいプリント作りのための基礎を培う。			
			成績評価の方法・基準	授業内での課題、出席、テストを総合的に判断する。			
週	月 日	授 業 項 目		授 業 内 容		備 考	
1		前期の復習 Camera Raw		Bridgeでの画像の整理や名前の変更・Photoshopでマスクを使った色調補正の復習・Camera Rawの使い方を学ぶ			
2		レベルチェック2 フィルムスキャン・解像度		レベルチェック2 解像度を理解し、フィルムスキャンでの正しいデータの作り方を身につける。			
3		RAW現像1 Capture One		Capture Oneを使ったRAW現像			
4		RAW現像2 Capture One		Capture Oneを使ったRAW現像			
5		RAW現像3 Lightroom Classic		Lightroom Classicを使ったRAW現像			
6		RAW現像まとめ 各種ソフトを比較する		写真集から1作を選び、色調を真似たプリント制作を行う。Camera Raw, Capture One, Lightroomをそれぞれ比較する。			
7		建築写真・パノラマ写真 ビントの合成・HDR		建築写真の撮影とアオリ補正を学ぶ。 スタジオで撮影したデータのビント合成を学ぶ。			
8		ポスター制作 人物の切り抜き		スタジオで行ったモデル撮影データと商品撮影データを組み合わせてポスター制作する。人物の切り抜きを通して、複雑な形の切り抜き方法を身につける。			
9		Photoshop パスツール		パスツールの使い方を理解する。			
10		ポスター制作 パスツール		スタジオで行ったモデル撮影データと商品撮影データを組み合わせてポスター制作する。商品の切り抜きを通して、パスツールの使い方を身につける。			
11		レベルチェック3 プリントワーク		レベルチェック3 学年末制作のプリントを行う。 個別指導でベストプリントを仕上げる。			
12		プリントワーク		学年末制作のプリントを行う。 個別指導でベストプリントを仕上げる。			
13		後期末課題		課題製作			
14		後期末課題		課題製作			
15		試験		試験・課題提出、発表など			

備考

--

添付書類b 実務経験のある教員による授業科目の授業計画書

ビジュアルアーツ専門学校(学校法人Adachi学園) 授業計画(2020年度申請分)

2020年6月29日

2020年度		マスコミ編集学科	フォトテクニク	鍛冶谷 直記 実務経験者
種類	単位数	授業概要	撮影機材のしくみ、使用方法を学習し、写真業界における知識とスキルを身につける。	
	4			
実習授業	週	到達目標	撮影の基礎から応用まで、実際の現場で対応できる知識と技術を習得する。	
	15週	成績評価の		
週	月日	授業項目	授業内容	備考
1		後期導入	講師紹介・後期授業の説明・前期授業の復習	
2		デジタルカメラ講義	デジタルカメラの高度な設定(RAW・色空間などを学ぶ)	
3		デジタルカメラ実習	デジタルカメラの高度な設定(前週で学んだ内容を実習)	
4		大判カメラ講義	大判カメラの使用法(4x5カメラの仕組みを学ぶ)	
5		大判カメラ実習	大判カメラ撮影実習(4x5カメラを用いて撮影を行う)①	
6		大判カメラ実習	大判カメラ撮影実習(4x5カメラを用いて撮影を行う)②	
7		ストロボ撮影実習	ストロボ撮影(多灯撮影・ハイスピードシンクロなど)	
8		ストロボ撮影実習	ストロボ撮影(前週で学んだ内容を実習)	
9		接写・複写実習	接写・複写(露出倍数・接写複写時の注意点を学ぶ)	
10		企業見学	PDAギャロップ見学(デジタルカメラの修理・カスタムを行うプロサービスファクトリーを見学します)	
11		まとめの実習	いままで学んだ知識・技術を用いてさまざまな方法で撮影を行う	
12		総まとめ講義	フォトマスター検定 模試(2級にチャレンジ)・答案解説	
13		後期末課題	課題製作	
14		後期末課題	課題製作	
15		試験	試験・課題提出、発表など	

備考

※PDAギャロップ見学の日程は変更になる場合があります。

2020年度		マスコミ編集学科		エディトリアル		担当: 太田 光昭		
種類		開講期	授業概要 到達目標	実務経験者				
実習授業		前期		イラストレーター、フォトショップを使用して、グラフィックデザイン的な要素を中心にクリエイターとして横の展開を身につけてもらう。				
		単位数						
		4						
		週 分						
		15週	使用機材 ソフト	イラストレーター、フォトショップ				
			判定方法(試験)	出席率と課題、授業態度などを総合的に判断する				
週	月 日	授 業 項 目		授 業 内 容		備 考		
1		プロフィールシート制作		講師と学生のコミュニケーション。プロフィールシート制作。				
2		フライヤー制作1		自分アピールのフライヤー制作A4裏表1				
3		フライヤー制作2		自分アピールのフライヤー制作A4裏表2				
4		コンピュータレッスン1		イラストレーターのベースの復習、習熟度の確認				
5		コンピュータレッスン2		文字の使い方、名刺、母の日カード制作				
6		コンピュータレッスン3		イラストレーターでトレース等ペンツールを覚える				
7		制作1		文字の使い方、カレンダー制作				
8		制作2		カレンダー制作				
9		制作3		レストランのDM制作				
10		Meets regional		Meets regionalをイメージしてVAO regionalの表紙を制作。特集は「どんぶり」ロゴ制作、メインビジュアルを選ぶ。見出しを絡めておいしそうで、買いたくなるような表紙制作				
11		フライヤー		七イベントフラオヤー制作				
12		リーフレット1		CDのカバー・リーフレット制作				
13		リーフレット2		美術館のリーフレット制作				
14		総まとめ		これまでのまとめ。復習と個別相談。				
15		試験		試験、見極め				

備考

--

2020年度		マスコミ編集学科		基礎演習	担当: 鍛冶谷 直紀 実務経験者
種類	開講期	授業概要 到達目標	体験や発見を写真でいきいきと表現できる		
	前期				
	単位数		フィルム一眼レフカメラFM3A、デジタル一眼レフカメラ		
	4 週 分 15週		出席率と課題、授業態度などを総合的に判断する		
週	月 日	授 業 項 目	授 業 内 容	備 考	
1		撮影導入	一眼レフの操作説明、スナップショットについて 撮影実習: お初天神(モノクロ1本~)		
2		撮影実習	GW写真帖説明、ポートレートについて 撮影実習: アメ村・なんば(モノクロ2本~)	西梅田一なんば一四ツ橋 片道¥230	
3		編集導入	GW写真帖プロセスチェック、授業1,2のまとめ		
4		編集実習	GW写真帖プロセスチェック		
5		野外演習	休日ロケ(神戸まつり) 集合 11:30@花時計前	交通費自費	
6		GW写真帖のまとめ	GW写真帖を鑑賞し一行で簡潔に感想を伝える 授業1~5までのモノクロ鑑賞		
7		人々の暮らしの中へ	撮影実習: 今里or新世界	西梅田一今里 片道¥280 梅田一動物園前 片道¥230	
8		チャレンジウィーク			
9		モノからの語りかけ(中判)	中判カメラ使い方説明、質感描写、ランドスケープについて、撮影実習: 天王寺動物園界隈(ブローニー2本~)	梅田一動物園前 片道¥230 入園料学校負担	
10		ルポルターージュについて	写真集(世界)感想提出、撮影実習: 鶴橋	大阪一鶴橋 片道¥180	
11		プロセスチェック	夏休み写真帖の説明、L判とコンタクトシート提出 写真集(日本) 感想提出		
12		前期の総まとめ	夏休み制作企画書計画提出、A4・モノクロ六切 組写真講評		
13		試験週			
14		前期末課題①			
15		前期末課題②			

備考

--

2020年度		マスター学科		エディトリアル	担当: 太田 光昭
種類		開講期	授業概要 到達目標	イラストレーター、フォトショップを使用して、グラフィックデザインの必要素を中心にクリエイターとして横の展開を身につけてもらう。	実務経験者
実習授業		前期			単位数
		4	使用機材 ソフト	イラストレーター、フォトショップ	
		週 分	判定方法(試験)	出席率と課題、授業態度などを総合的に判断する	
週	月 日	授 業 項 目	授 業 内 容		備 考
1		プロフィールシート制作	講師と学生のコミュニケーション。プロフィールシート制作。		
2		フライヤー制作1	自分アピールのフライヤー制作A4裏表1		
3		フライヤー制作2	自分アピールのフライヤー制作A4裏表2		
4		コンピュータレッスン1	イラストレーターのベースの復習、習熟度の確認		
5		コンピュータレッスン2	文字の使い方、名刺、母の日カード制作		
6		コンピュータレッスン3	イラストレーターでトレース等ペンツールを覚える		
7		制作1	文字の使い方、カレンダー制作		
8		制作2	カレンダー制作		
9		制作3	レストランのDM制作		
10		Meets regional	Meets regionalをイメージしてVAO regionalの表紙を制作。特集は「どんぶり」ロゴ制作、メインビジュアルを選ぶ。見出しを絡めておいしそうで、買いたくなるような表紙制作		
11		フライヤー	七イベントフラオヤー制作		
12		リーフレット1	CDのカバー・リーフレット制作		
13		リーフレット2	美術館のリーフレット制作		
14		総まとめ	これまでのまとめ。復習と個別相談。		
15		試験	試験、見極め		

備考

--

2020年度		マスター学科		デジタル実習2		太田 光昭 実務経験者	
後期		単位数 4	授業概要	Adobe Camera Raw, Capture One, Lightroomの基本的な操作方法を修得しRAW現像処理を学ぶ。Adobe Photoshopでの様々な合成方法を学ぶ。			
実習授業		週 15週	到達目標	デジタルワークの基礎を身につけ、美しいプリント作りのための基礎を培う。			
			成績評価の方法・基準	授業内での課題、出席、テストを総合的に判断する。			
週	月 日	授 業 項 目		授 業 内 容		備 考	
1		前期の復習 Camera Raw		Bridgeでの画像の整理や名前の変更・Photoshopでマスクを使った色調補正の復習・Camera Rawの使い方を学ぶ			
2		レベルチェック2 フィルムスキャン・解像度		レベルチェック2 解像度を理解し、フィルムスキャンでの正しいデータの作り方を身につける。後期学んだ内容を総復習する。			
3		RAW現像1 Capture One		Capture Oneを使ったRAW現像			
4		RAW現像2 Capture One		Capture Oneを使ったRAW現像			
5		RAW現像3 Lightroom Classic		Lightroom Classicを使ったRAW現像			
6		RAW現像まとめ 各種ソフトを比較する		写真集から1作を選び、色調を真似たプリント制作を行う。Camera Raw, Capture One, Lightroomをそれぞれ比較する。			
7		建築写真・パノラマ写真 ピントの合成・HDR		建築写真の撮影とアオリ補正を学ぶ。 スタジオで撮影したデータのピント合成を学ぶ。			
8		ポスター制作 人物の切り抜き		スタジオで行ったモデル撮影データと商品撮影データを組み合わせポスター制作する。人物の切り抜きを通して、複雑な形の切り抜き方法を身につける。			
9		Photoshop パスツール		パスツールの使い方を理解する。			
10		ポスター制作 パスツール		スタジオで行ったモデル撮影データと商品撮影データを組み合わせポスター制作する。商品の切り抜きを通して、パスツールの使い方を身につける。			
11		レベルチェック3 プリントワーク		レベルチェック3 学年末制作のプリントを行う。 個別指導でベストプリントを仕上げる。			
12		プリントワーク		学年末制作のプリントを行う。 個別指導でベストプリントを仕上げる。			
13		後期末課題		課題製作			
14		後期末課題		課題製作			
15		試験		試験・課題提出、発表など			

備考

--

2020年度		放送・映画学科		基礎演習		担当:柴田誠 実務経験者	
種類	開講期	授業概要 到達目標	メディア(フィルム・ビデオ)の特性を別にして、カメラを介して「見る／見える」ことの発見。 あなたとわたしの間にあるカメラという異物をいかに捉え、扱っていきけるのか。 撮影指向でない人も、その感覚を掴むことは必須となる。「画力」と「伝える力」を鍛えていく。				
実習授業	前期	4	使用機材 ソフト	ハンディカム(学校貸出 及び 学生個人私物)/Avid MediaComposer			
	単位数		判定方法 (試験)	出席評価と担当教員による各課題チェックにより成績判定。A、B、Cが単位取得可能。			
	15週						
週	月 日	授 業 項 目	授 業 内 容			備 考	
1		街ロケ① 梅田	■導入講義:基礎演習について ※カメラ機材貸出についての注意 ○カメラ・メンテナンス:クリーニング方法、基本操作、カットシート説明 ■課題①ロケ:『街ロケ①/私が興味を持ったものを大きく鮮明にFixで切り取る』 ○学校周辺/1カット10秒以上で、10カットほど/ズーム使用不可、FIXで撮影			Cam設定	
2		街ロケ① 試写	■課題①試写:クラスメイトと共に自分の撮影した映像を見る ○サイレントで試写(見せたいカットを学生が選ぶ) ○担当批評 ○次回の課題発表(下記、第3週参照) ※「画力」の参考として、個人映画や一般映画・映像等ジャンル問わず、抜粋試写				
3		街ロケ② 十三	■課題②ロケ:『街ロケ②/私が興味を持ったものを大きく鮮明にFixで切り取る』 ○授業頭から移動/十三駅周辺でロケ ○カット編集で1分ほどにまとめた試写/タイトル無し/サイレント				
4		街ロケ② 編集納品	■課題②編集～納品 ○最初にポータブルHDDへの素材のバックアップの手順を ○授業時間内での仕上げと納品 ○編集により生まれる意味も意識させる →「伝える力」			PC取り込み～書き出し	
5		街ロケ② 試写	■課題②試写 ○担当批評 ○学生にも口頭批評させ、批評ノートへの記入もさせる ○次回の課題発表(下記、第6週参照)				
6		人を撮る① 説明 (企画集め)	■課題③説明:『私が今、興味を持っている人を撮る』 ○次回までに撮影 ○尺3分まで ○再び編集無しで、撮りきりの素材のまま試写 ○ロケ地:自由(自分と相手にとって意味のある場所を求む) ※この週は余裕あり。長めの参考作品試写可能(河瀬直美『かたつもし』?)			ロケ予定確認	
7		FC	チャレンジ課題				
8		人を撮る① 試写	■課題③試写:各自でロケしてきた素材を試写(予定的に撮れていない人は次回) ○自分の想う相手の魅力は、ちゃんとスクリーンに現れるだろうか? 伝わるか? ○担当批評 ○各自、撮影してみたの感想をレポートとして書かせ、実感を掴む ※試写が早く終われば参考作品試写も(ジャンル問わず触れさせる)			レポート	
9		人を撮る① 試写	■課題③試写の続き:各自でロケしてきた素材を試写する 同上 ※試写が早く終われば参考作品試写も(ジャンル問わず触れさせる)			レポート	
10		人を撮る② 説明	■課題④説明、企画集め:『人物ルポルタージュ課題』※夏課題となる ○編集も行い、タイトル・クレジットも加えて作品として制作 ○完成尺は5分 ○子ロップは最低限許可 ○音も使用できるが、音楽は不可 ○夏休みに本撮影し、後期の前半で編集と試写 ○課題③と同じ人物を撮影する場合は素材も一部流用可能				
11		人を撮る② 企画集め	■課題④説明、企画集め ○企画検討 ※必要に応じて参考作品試写			ロケ予定確認	
12		人を撮る② 企画集め	■課題④説明、企画集め ○企画検討と、必要に応じて参考作品試写 ※夏休み中の機材貸出について説明/夏休み課題の質問受け付けも			ロケ予定確認	
13		試験	■前期に自分が撮影したカットの中で一番印象深い画を静止画として書き出し、その理由、もしくはその静止画から発想されたエッセイなど創作文を執筆し、提出 ■前期撮影分の素材バックアップなどがまだの学生はこのタイミングでさせる				
14		課題発表	課題制作				
15		課題発表	課題制作				

備考

--

2020年度		放送・映画学科		表現演習		担当: 高木駿一
						実務経験者
種類	開講期	授業概要 到達目標				
実習授業	前期		技術授業の実践として、課題作品をグループで制作する。課題の企画・シナリオを経て、準備、撮影、編集、音付けなどの作業を行い、映画制作の各作業とプロセス、実際の技術などを体得していく。小グループで行い、全員が何らかの技術バートを責任担当する。5分程度の短編映画を制作。			
	単位数	4	使用機材 ソフト			
	15週		判定方法 (試験) 出席評価と提出レポート、担当教員による課題チェックにより成績判定。A、B、Cが単位取得可能。			
週	月日	授業項目	授業内容		備考	
1		前期作品制作準備	<ul style="list-style-type: none"> ■前期課題の発表 3班に分かれてグループ制作/課題のシナリオを基に、5分程度の映画を制作 ■導入講義として 映画とテレビの演出の違い/映画制作の流れ/各部署の解説 次回のデモ撮影用のシナリオ、画コンテ、香盤を配布してリハーサルも行う 		次回のデモ撮影用のシナリオ配布	
2		撮影体験	<ul style="list-style-type: none"> ■実習機材を使用した「デモ撮影実習」 実習担当者が基本的に監督し、学生にスタッフと出演をさせて、同時録音で撮影 各スタッフの役割を、撮影を進行させつつ解説/イマジナリーラインを意識させる 第3週の試写時に実感できるように、モンタージュについての話もする 		映画制作技術ワークノートのp.58,59参照のうえで進める	
3		前期作品制作準備	<ul style="list-style-type: none"> ■「デモ撮影実習」のまとめ 撮影した映像の試写(ラッシュ版と、担当が事前に編集した完成版を続けて観る) ■前期課題シナリオの配布、グループ分けと打ち合わせ グループごとのポジション分け/シナリオから情報を読み取る/プリプロの重要性 		前期課題用のシナリオ配布 ※監督にはデータでも渡す	
4		プリプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■ロケ地の決定:ロケハンの必要性 ■シナリオの読み合わせと立ち稽古:演じる役者を活かした柔軟な演出へ誘導 ■以上を踏まえて演出プランの考察:カット割り(画コンテ)をロケまでに提出させる 			
5		プリプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■撮影・録音機材の確認:テスト撮影・試写(スクリプターの役割を認識させる) ■香盤表の作成:天候などの変更も想定した香盤も作成 		各班から撮影台本とコンテと香盤表を受け取る	
6		ロケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■各チームで香盤表・画コンテに沿った撮影実習 			
7		FC	チャレンジ課題			
8		ロケーション そして ポストプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■各チームで香盤表・画コンテに沿った撮影実習 ■撮影できた班からAdobe Premiereでのポストプロ作業(リテイクがあるかの確認) 			
9		リテイク または ポストプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■リテイクが必要になった班は追加撮影も可 ■音素材が必要になった場合は編集担当と分かれて録音に出ても良い 			
10		ポストプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■仮編が仕上がったら随時チェック試写し、客観的に検討する作業を怠らないこと 			
11		ポストプロダクション	<ul style="list-style-type: none"> ■MA・グレーディングを経て完成 納品基準を満たした状態でMXF 35Mbpsで書き出し、XDCAMディスクで納品 			
12		作品完成試写	<ul style="list-style-type: none"> ■前期課題作品クラス内試写 上映時はスタッフキャスト全員の舞台挨拶をさせ、担当講師の講評 学生には批評ノートを提出させる 		プレビュールームでの試写	
13		試験	<ul style="list-style-type: none"> ■撮影を終えてのレポートの制作・提出 (完成作品は自分の想像を超えていたか、スタッフとしてどのように関わっていたか) ■編集の修正など、前回の試写時に担当から指示が出ていた場合はその作業も行う 各種データのバックアップもさせること 			
14		課題発表	課題制作			
15		課題発表	課題制作			

備考

成績判定:出席が足りているか、前期課題作品が提出されているか、レポート提出ができていないか、この3点を見て判断する。前期課題作品は、演出・撮影・録音等の技術的達成度を考慮して評価する。

2020年度前期		放送・映画学科		制作実習		担当 高木駿一 実務経験者	
種類		開講期 前期		授業概要 到達目標			
実習授業		単位数 6		使用機材 ソフト			
		週分 15週		判定方法 (試験)			
週	月日	授業項目		授業内容		備考	
1	4月18日	企画の方法論と新しい映画の流れを知る		嘘の自己紹介から、何が面白いと感じさせたかを話し合う。映画の部分を鑑賞して、映画の新しい流れや、方法論を知る。		課題「私にとって、感じている息苦しさとは(自分の言葉で)」書いてくる。	
2	4月25日	書いてみたことから発展する方法を知る		午前中、発表された課題から、午後、どのような映画の形が考えられるかを、数本の企画から、企画ミーティングを全員で行う。企画のできない学生は、何に期待するかを話させる。		ゴールデンウイークで、自分の企画をプロット化してくる。(課題)監督志望者は全員必須。	
3	5月9日	次の作業に可能性を生む企画批評とは？映画技術の復習		書いてきたプロット、ロングシノプシスからどのような世界が垣間見られるかを話し合う。観客が出会う可能性を広げる省略とは。後半、ワンシーンを選んで、照明などを行い、即興で演じてみる。知っていることと観客に伝わらないことなどを知る。		監督志望者はシナリオ化(課題)完成20分程度の短編。	
4	5月16日	企画決定とスタッフワークを学ぶ		書いてきたシナリオを印刷して、全員で読み合わせ。その後決定。後半、スタッフわけをするが、それぞれのスタッフには、自らに課する課題を具体的に持たせるようにする。		選ばれた監督に、さらにシナリオ改稿を課題とする。スタッフには準備を。	
5	5月23日	事前準備と技術的課題		監督の改稿されてきたシナリオの評価を、読み合わせから行う。別の班の読み合わせを他班は確実に聞き、感想を話させる。後半、カメラと照明、録音を模倣的に組み、技術的課題を話し合う。オンリーの徹底。		キャスティングやロケハンすることを課題とする。ロケハン写真。	
6	5月30日	事前準備技術的チェック		前半はシナリオの改稿があればチェックし、各技術セクションがしっかりと作業と必要な技術を持っているか、機材知識はあるのかをチェックする。製作的なパートではどういう動きが必要かをチェックする。ロケハンに出る。		FC時のゼミ作業で、テスト撮影かキャストのカメラテストなどを指示。	
7		FC		チャレンジ課題			
8	6月13日	撮影		カメラテストのチェックの後、撮影時間にあてる。但、キャストの都合などで撮影に行かない場合、バックノイズの収録や、演出の方法論をさぐるための、スタッフが演じてみる模擬撮影を行う。			
9	6月20日	撮影		同上。			
10	7月4日	撮影		同上だが、編集も同時進行で行う。必要なタイトルロールなども作っておく。			
11	7月11日	編集		同時録音とオンリーを生かしたリアルな映像世界を作る。あるいは、映画の質によっては真逆の技術を考えて見る。シンプルだが、観ることの期待にあふれる映画の形を模索する。			
12	7月25日	編集と試写		上記の課題での編集と試写を行う。試写の後、それぞれのスタッフが何に期待し映画作業に望み、何が出来て、何が出来なかったかを簡単な文章にしてみる。		編集のやり直し部分を指示。	
13	7月29日	試験		映画人として知っているべき知識(システムや企画の方法、あるいは技術)に関する試験を行う。		45分間	
14		課題発表		課題制作			
15		課題発表		課題制作			

備考

--

2020年度前期		音響芸術学科	1年	専攻実習1	専攻	担当	岩崎
種別		開講期 前期	授業概要	音や機材に関する基本的な知識を身につける事により、PA実習やPA技術で使用 する機材に対して迷いなく対応出来るようになる			実務経験者
実習授業		単位数 4	使用機材	マイク・スピーカー・パワーアンプ・ミキサー卓・楽器など			
教室		週分 15週	判定方法	筆記試験			
回数	月日	授業タイトル	授業内容及び使用機材				備考(配布物など)
1		音について PAについて	音とはなにか? PAとはなにか? これから扱う「音」について詳しく知り、興味を持つ コンサート音響だけが「PA」ではなく、そもそも「PA」とはどういったものかを知り、視野を広げ、 今後の進路について考えていく				
2		コネクタ&ケーブル	いろいろなコネクタやケーブルの説明 接続に使う様々なコネクタやケーブルの種類や役割を知り、機器同士の接続に必要なコネクタ、 ケーブルを理解し、スムーズな接続作業が出来るようになるための知識を習得する				
3		Mic・DIについて	いろいろなマイクやDIの紹介。マイクの構造、DIの機能や種類などの説明 音の入口である「マイク」について理解を深める 一言で「マイク」と言っても多種多様なものがある。そのマイクの基本的な構造や種類などについての 知識を習得する				
4		パワーアンプ スピーカーについて 1	いろいろなパワーアンプやスピーカーの紹介。構造や種類の説明 1 スピーカーの構造、そもそもなぜいろいろな形の箱に入っているのか?なぜその箱が必要なのか? などスピーカーの特性などについて知り、催しに合わせた機材選定が出来るような知識を身につける そのスピーカーを駆動するパワーアンプについても同時に理解し音の出口について理解を深める				
5		パワーアンプ スピーカーについて 2	いろいろなパワーアンプやスピーカーの紹介。構造や種類の説明 2 スピーカーの構造、そもそもなぜいろいろな形の箱に入っているのか?なぜその箱が必要なのか? などスピーカーの特性などについて知り、催しに合わせた機材選定が出来るような知識を身につける そのスピーカーを駆動するパワーアンプについても同時に理解し音の出口について理解を深める				
6		ブロックダイアグラム	ONYX1640iのブロックダイアグラムの見方 ブロックダイアグラムによるミキサー卓内の信号の流れの確認 ブロックダイアグラムを見ながら実際の信号の流れを確認できるようになればトラブルが起こった時に 対処出来るようになる				
7		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業				
8		電源について	電気について 音響機材は全てにおいて電気が必要になる。そのための電気についての基礎知識を学ぶ テスターを使った電圧の計り方や電源の極性の調べ方についての知識を身につける				
9		プランニング	2年生が毎年参加している「COMING KOBE」の実際のプラン図を見ながらプランについて考えていく どんなイベントに於いても必要になる「プラン図」というものを知り、今後学内外における授業やイベント、現場 でのアルバイトでも対応できるスキルを身につける				
10		楽器について	音響の機材についての知識だけでなく、楽器の知識についても理解を深める 楽器の知識を習得することにより、ミュージシャンに対する対応にも幅が出る 小さなPA会社では音響機材のセッティングだけでなく、楽器のセッティング、メンテナンス等も必要になるた めに知識も習得する必要がある				
11		機材のラックマウント	機材を入れておくラックケースについての知識を身につける 様々なメーカーから様々なラックケースが販売されている。そのラックケースの用途や役割、種類など について理解を深める ラックマウントをする時の注意点などについても解説し、どんな場合にでも対応できるようにする				
12		合同アコースティック実習	ゲストを迎えてアーツホールとZEROの2会場で行う全セッション合同の実習 舞台機構、照明実習との合同実習 前期に習得した音響、照明、舞台の技術を実際のミュージシャンを相手にアコースティックライブを行う 自分の成長を実感し、反省点を確認し、今後の学生生活にいかしていくように指導する				
13		試験	試験出席で「出席扱い」、試験結果は成績に反映				
14		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業				
15		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業				
備考							

2020年度		音響芸術学科		1年	基礎技術 1	泉卓爾
種別	開講期 前期	授業概要 到達目標	他専攻の作業を理解することによってより舞台全体の感覚を高めコミュニケーションを取れるようになることを目指す・実際のイベントを通してセッション間の連携の大切さを実感する			実務経験者
実習授業	単位数 4	使用機材 ソフト	音照各機材			
教室	週分 15週	判定方法	出席日数・授業態度・筆記試験結果などで総合的に判断する			
回数	月日	授業タイトル	授業内容及び使用機材			備考(配布物など)
1		舞台機構について	授業内容と流れの説明・正しい挨拶と返事の仕方			
2		機材の持ち方・運び方	各種機材の安全な持ち方(1人や複数人で)・台車等を使った安全な運搬方法			
3		平台と箱馬 1	平台と箱馬の基本的なサイズとバリエーション・組み合わせ方			休講予定(補講日未定)
4		平台と箱馬 2	材料を使った落ち止め・パンチ貼りとケコミ			
5		インテリステージ	インテリステージの各部材の名称・組み立て方と注意点について			
6		テープの種類と利用法	舞台上で利用する各種粘着テープの種類とその利用方法			
7		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業			
8		袖パネルと引幕	袖パネルの組み立て方・引幕の仕込み方			
9		イントレ 1	イントレの部材の名称・組み立て方(1段)			
10		イントレ 2	イントレの組み立て方(2スパン2段)			
11		イントレ 3 と ラッシング	イントレの組み立て方とラッシングによる機材の固定方法			
12		アコースティック実習	ゲストを迎えてアーツホールとZEROの2会場で行う全セッション合同の実習			ソロアーティスト 2組
13		試験	試験出席で「出席扱い」、試験結果は成績に反映			
14		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業			
15		チャレンジウィーク	チャレンジウィーク特別授業			
備考						

2020年度		音響芸術学科	1年	基礎技術 2	泉卓爾
種別	開講期 後期	授業概要 到達目標	他専攻の作業を理解することによってより舞台全体の感覚を高めコミュニケーションを取れるようになることを目指す・実際のイベントを通してセッション間の連携の大切さを体験する		実務経験者
実習授業	単位数 4	使用機材 ソフト	音照各機材		
教室	週分 15週	判定方法	出席日数・授業態度・筆記試験結果などで総合的に判断する		
回数	月日	授業タイトル	授業内容及び使用機材		備考(配布物など)
1		筆記試験返却・他己紹介	筆記試験返却と答え合わせ・チームワークのため自己紹介をする		
2		照明について	照明班主導で仕込み作業のレクチャーを行う(吊り込み・点灯チェックまで)		
3		PAについて	PA班主導で仕込み作業のレクチャーを行う(イン・アウト結線・チェックまで)		
4		企画・進行について	インカムについて(接続方法と利用方法)		
5		ライブレコーディングについて	CDを鳴らしてライブ盤をつくる		
6		模擬イベント	カラオケ大会実技		
7		ZERO仕込みについて	ZEROの基本仕込みを学ぶ(袖パネル・引幕・ケコミ)		
8		舞台演出を考える			
9		舞台演出を考える			
10		模擬イベントテクリハ	最終イベントの為のテクリハ		
11		模擬イベントA班	ゲストを迎えてのイベント実技		
12		模擬イベントB班	ゲストを迎えてのイベント実技		
13		試験	試験結果は成績に反映		
14		学年末	学年末特別授業		
15		学年末	学年末特別授業		
備考					

2020年度		映像音響 学科		基礎技術 1		北嶋 世輝 実務経験者	
種別	単位数	授業概要	音響機器の基本的な取り扱い、各種マイク、録音を習得。 ミキサー・カメラを使い音の流れを確認しながら映像制作の音を実習で学ぶ。				
	4						
実習授業	週分	到達目標	撮影用マイク・ミキサー・レコーダー・カメラの使い方を習得				
	15週	成績評価の方法・基準	筆記試験・実技試験				
週	月日	授業項目	授業内容			備考	
1		録音復習	アナログミキサーを使って音の流れの復習 スタジオワークフローの復習 セリフの録音			短編アニメのセリフ収録	
2		撮影実習	撮影用マイクの録音比べ 番組構成で制作 カメラ マイク ミキサー マルチモニター それぞれに分かれて撮影時のセクションの役割も知る			番組台本 FS305 MKH416	
3		撮影実習	カメラと録音機材のつなぎ方を習得			FS305 PXW-X70	
4		撮影実習	カメラとレコーダーのつなぎ方を習得			Zoom F8を使用	
5		撮影実習	カメラのアングル セッティングについて簡易説明			テキスト用意	
6		中間実技試験	撮影用機材の理解度を確認				
7		MA作業	音楽を編集する 編集の基本操作 見本通りに編集する 整音作業			Pro Tools	
8		MA作業	アフレコについて理解 撮影時の使えないセリフをスタジオでADRする			MAスタジオ	
9		MA作業	ダビングのワークフロー EQ・コンプレッサーを使った音の表現を学ぶ			フレーム外の演出について説明	
10		楽器の録音	スタジオで Gt Vo Dr Ba Kyeを演奏し、録音する マイキングの理解				
11		楽器の録音	スタジオで Gt Vo Dr Ba Kyeを演奏し、録音する マイキングの理解 前週の復習				
12		ミックスダウン	レコーディング素材を使い、音楽作品をミックスし提出				
13		展示会準備	個人制作のブラッシュアップ				
14		展示会準備	個人制作のブラッシュアップと見せ方の方法を確定				
15		展示会準備	映像音響作品の展示のためのプレゼンテーションを実施				

備考

--

2020年度		映像音響学科		専攻技術1		担当 塚本 武	
						実務経験者	
種別	開講期	授業概要 到達目標		【概要】macの基礎、コンピューター概念からDAWの基礎、波形編集を習得。 【到達目標】録音素材を編集し、MA作品を仕上げる			
実習授業	前期						
	単位数	4		使用機材 ソフト		V1-403 Pro Tools	
	週分	15		判定方法(試験)		出席・課題提出・筆記試験	
週	月日	授業項目		授業内容		備考	
1	4月18日	Mac基本操作 1 PT編集流れ		H5の作動確認 初期設定 使用上の注意 Macの起動 基本操作 ウィンドウの操作 音素材クリップ付きアニメ課題 見本トラック付き 実施していく作業の流れを確認する。		H5自宅での録音宿題	
2	4月25日	整音の基本 1		Audacityでの整音 自宅課題で録音された音素材をコンピュータに移し、基本的な整音を行い、ライブラリーの作成方法を 実習する。ファイルフォーマット Trim Normalize FI/FO クリップファイル WAVデータをエクスポート		連休宿題 H5での素材音録音	
3	5月9日	整音の基本 2		春の音の課題を整音し、ライブラリーを作る。 Lo-Cut処理を追加 不要な低音とはどんな音か? 映像系音声データフォーマットとオーディオCDフォーマット		発表会用プレゼンの準備	
4	5月16日	Mac基本操作 2 PT編集流れ		春の音発表会(各自1点ベスト1) PT基本操作 EditMode EditTool Zoom アプリケーションプログラムよりPTを起動、セッションファイルの作成、トラックの作成		ProToolsウィンドウ構成 編集画面とミックス画面 編集画面各部説明 クリップデータのインポート 追加とコピー	
5	5月23日	PT操作演習 エフェクター加工 1		インサートプラグインエフェクターの使い方 イコライザ 歪ませる ピッチシフト リバーブ センドとバス AUX入力トラック Audiosuiteエフェクターの使い方 インサートとの違い ノーマライズ ピッチシフトとタイムComp/Exp		エフェクター実習用セリフ素材 宿題 エフェクター課題のセリフを自宅で録音してくること。シナリオ「小人と怪物」 効果音なし	
6	5月30日	チャレンジワーク		PTでのセリフの整音処理 クリップネーム 切り出し FIFO処理 ノーマライズ タイムラインに順に並べる ピッチシフト タイムComp/Exp処理		BGMデータ選出 持参 AudioCD ほかデータ	
7	6月13日	エフェクター加工2		「小人と怪物」課題の制作。エフェクター加工作業。 BGMクリップのインポートと演出上の使い方		オーディオハウス サーバーに提出	
8	6月20日	課題作品試聴会		「小人と怪物」試聴会 プレゼンと発表 アニメMA課題「ロケット工場」の課題配布とギミック音源ソフトの使い方 オーディオデータの作成方法		ソフト音源Expandの使い方 Busの使い方	
9	6月27日	MA作業課題 ①		PtoTools試験対策コーナー20分程度 アニメ効果音課題 1分30秒 必要な効果のリスト作成 楽器音でのギミック表現		PtoTools試験対策コーナー練習問題	
10	7月4日	MA作業課題 ②		PtoTools試験対策コーナー20分程度 編集 BGMを付けよう。		PtoTools試験対策コーナー練習問題	
11	7月11日	MA作業課題 ③		PtoTools試験対策コーナー20分程度 編集 完成 バウンス提出		PtoTools試験対策コーナー練習問題 作品課題の動画バウンスと提出	
12	7月18日	夏季合宿		合宿期間			
13	7月25日	実技試験・筆記試験		後半1コマ実技練習 セッション&トラックの作成 オーディオ素材インポート 指定レベルでのノーマライズ、ク リップの抽出、FI/FO Audiosuite AUXエフェクト等 筆記試験 PTの基本操作、ショートカット、用語等		試聴コメント記入用紙 試験音源素材 筆記試験問題用紙	
14	9月19日	合宿CM制作①		夏季合宿撮影素材を使いCM制作。 Adobe Premierを使いカット編集の基本操作、Photoshopでのタイトルデザイン。 キーフレームを使つてのチロップアニメーションを習得。			
15	9月26日	合宿CM制作②		2年生を交えての作品発表会。 プレゼンテーション課題として、 ・こだわりポイント・プレゼンテーション通りの作品かどうかを審査			

備考

2020年6月29日

2020		映像音響 学科		専攻実習 1		杉本 稔 実務経験者	
種別	単位数	授業概要	DAWの基礎、楽曲打ち込みを習得。 前期ではPro Toolsを後期からLogicを使い様々なDAW技術を習得。				
	4						
実習授業	週分	到達目標	楽譜を見ながらのDTM制作を習得				
	15週	成績評価の方法・基準	課題提出				
週	月日	授業項目		授業内容		備考	
1		Logic基本 音楽基礎知識		Logicの基本的な使い方 音楽基礎理論			
2		LogicMIDI打ち込み リズム編①		各パートMIDIデータ打ち込み方法 ドラム譜の読み方 パターンの打ち込み			
3		Logic MIDI打ち込み リズム編②		各パートMIDIデータ打ち込み方法 パターンの打ち込み 既存楽曲にドラムパターン作成			
4		Logic MIDI打ち込み ベース編		各パートMIDIデータ打ち込み方法 ベースパターンの打ち込み ベース楽器説明音色など			
5		Logic MIDI打ち込み キーボード編①		各パートMIDIデータ打ち込み方法 コード説明の打ち込み キーボード系楽器説明音色など			
6		Logic MIDI打ち込み キーボード編②		各パートMIDIデータ打ち込み方法 フレーズパターンの打ち込み シンセ系楽器説明音色など			
7		Logic MIDI打ち込み MIX & Plugin技術		MIDIデータ作成した楽曲のMIX作業 各プラグインやバランス & パウンス方法		楽曲発表	
8		ジングル制作①		5～30秒のオリジナルジングル制作 テーマやイメージを考える 考えをテキストに起こす			
9		ジングル制作②		5～30秒のオリジナルジングル制作 軸となるコードやメロディを考える			
10		ジングル制作③		5～30秒のオリジナルジングル制作 音色や使用楽器追加ブラッシュアップを考える			
11		ジングル制作④		5～30秒のオリジナルジングル制作 MIX作業、最終調節など仕上げ作業		各作品チェック	
12		作品発表		プレゼンテーション・内容と作品の相違を確認			
13		展示会準備		個人制作のブラッシュアップと見せ方の方法を確定			
14		展示会準備		個人制作のブラッシュアップと見せ方の方法を確定			
15		展示会準備		映像音響作品の展示のためのプレゼンテーションを実施			

備考

--

2020年度		ミュージシャン学科		アンサンブル I		担当 鈴木先生 実務経験者	
前期		単位数 2	授業概要	作曲 アレンジ ライブ演奏ディレクション			
実習授業 (講義授業)		週分	到達目標	音楽制作と表現			
		15週	成績評価の方法・基準	授業参加 テスト 出席			
週	月日	授業項目		授業内容		備考	
1		Ensemble1 Live		メジャーインターバル ダイアトニックの理解① 8 beat			
2		Ensemble2 Live		keyの理解 調号 ダイアトニックの理解② tempo			
3		Ensemble3 Live		ペントニック ダイアトニックの理解③ サイズ譜 リビート記号			
4		Ensemble4 Live		コードトーン 定型コード進行① コードの理解			
5		Ensemble5 Live		コード転回形 定型コード進行② 16 beat			
6		Ensemble6 Live		定型コード進行③ リズム譜			
7		Ensemble7 Live		3連 メロディーワーク① メロディー記譜			
8		Ensemble8 Live		バウンス メロディーワーク② 作詞開始			
9		Ensemble9 Live		メロディーワーク③			
10		Ensemble10 Live		楽曲完パケ①			
11		Ensemble11 Live		楽曲完パケ② アーツライブ			
12		課題期間1		レベルチェック			
13		課題期間2		楽曲完パケ③			
14		課題期間3		アーツライブ			
15		課題期間4		音響合同ステージ実習			

備考

--

2020年度		ミュージシャン学科		アンサンブルⅡ		担当 鈴木先生 実務経験者	
前期		単位数 2	授業概要	作曲 アレンジ ライブ演奏ディレクション			
実習授業 (講義授業)		週分	到達目標	音楽制作と表現			
		15週	成績評価の方法・基準	授業参加 テスト 出席			
週	月日	授業項目		授業内容		備考	
1		シャッフル①		課題曲(未決定 洋楽) 楽曲説明			
2		シャッフル②		パート別実習			
3		シャッフル③		LAB 実習			
4		シャッフル④		ライブハウス実習		シャッフルの体得	
5		16ビート①		課題曲(未決定 洋楽) 楽曲説明			
6		16ビート②		パート別実習			
7		16ビート③		LAB 実習			
8		16ビート④		ライブハウス実習			
9		日本語歌詞①		課題曲(未決定 j-pop) 楽曲説明			
10		日本語歌詞②		パート別実習			
11		日本語歌詞③		LAB 実習			
12		日本語歌詞④		ライブハウス実習			
13		試験		テスト			
14		課題期間1		音響合同ステージ実習			
15		課題期間2		音響合同ステージ実習			

備考

--

2020年度		ミュージシャン学科		作編曲講座 I		持永 実務経験者	
前期		単位数 2	授業概要	作曲 アレンジ ライブ演奏ディレクション			
実習授業 (講義授業)		週 分	到達目標	楽曲研究			
		15週	成績評価の 方法・基準	筆記・実技テスト			
週	月 日	授 業 項 目		授 業 内 容		備 考	
1		メジャーインターバル		ダイアトニックの理解① 8 beat			
2		keyの理解 調号		ダイアトニックの理解② tempo			
3		ペンタトニック		ダイアトニックの理解③ サイズ譜 リビート記号			
4		コードトーン		定型コード進行① コードの理解			
5		コード転回形		定型コード進行② 16 beat			
6		リズム譜		定型コード進行③			
7		3 連		メロディーワーク① メロディー記譜			
8		バウンス		メロディーワーク② 作詞開始			
9		ワーク		メロディーワーク③			
10		完パケ		楽曲完パケ①			
11		完パケ		楽曲完パケ② アーツライブ			
12		完パケ		楽曲完パケ③			
13		試験		筆記テスト			
14		課題期間 1		音響合同ステージ実習			
15		課題期間 2		音響合同ステージ実習			

備考

--

2020年度		ミュージシャン学科		作編曲講座 II		持永 実務経験者	
後期		単位数 2	授業概要		作曲 アレンジ ライブ演奏ディレクション		
実習授業 (講義授業)		週 分	到達目標		音楽制作と表現		
		15週	成績評価の 方法・基準		授業参加 実技テスト 出席		
週	月 日	授 業 項 目		授 業 内 容		備 考	
1		楽譜の作成		ドミナントの理解① マイナー楽曲&3度7th			
2		7thの理解		ドミナントの理解②			
3		テンションノート		ドミナントの理解③			
4		分数コード		コード進行制作①			
5		スーパーオーディション 提出音源		コード進行制作②			
6		オルタードテンション		コード進行制作③ 2-5			
7		コードに合わせたメロディー 変換		メロディーワーク① 声優ラジオ番組オーディション			
8		ハーモニックマイナー		メロディーワーク② Xmas オーディション			
9		ハーモニックマイナー		メロディーワーク③			
10		楽曲完パケ①		自分の楽曲と呼べる作品を目指す			
11		楽曲完パケ②		Xmas 準備			
12		楽曲完パケ③		Xmas レベルチェック			
13		試験		筆記テスト			
14		課題期間 1		音響合同ステージ実習			
15		課題期間 2		音響合同ステージ実習			

備考

--

2020		ミュージシャン学科	DAW ADVANCE I	杉本 実務経験者
前期	単位数	授業概要	DAWの技術習得と曲作りの実践を行う	
	2			
実習授業 (講義授業)	週分	到達目標	楽曲発表	
	15週	成績評価の方法・基準	授業参加 実技テスト	
週	月日	授業項目	授業内容	備考
1		楽曲制作1	授業内容&クラス、進行説明 データ保存&フォルダ作成等 楽曲イメージの構築	
2		楽曲制作2	楽曲ベーシック完成① 打ち込み技法アドバイス	
3		楽曲制作3	楽曲ブラッシュUP② レイヤー&音色等アドバイス、VOX_RECディレクション	REC技術
4		楽曲制作4	トラックダウン③ ステムデータ書き出し、VOX_RECディレクション&編集	データ編集
5		MIX①	マスタリング④	
6		MIX②	最終MIX作業 LIVE用オケ完成&提出	新歓オーディション用
7		eo music制作	進行別アドバイス①、eo music楽曲制作① *映像音響楽曲制作(各3曲)	
8		eo music制作	進行別アドバイス②、eo music楽曲制作② *映像音響楽曲制作(各3曲)	
9		eo music制作	進行別アドバイス③、eo music楽曲制作③ *映像音響楽曲制作(各3曲)	
10		MIX①	進行別アドバイス④、eo music楽曲制作④ *映像音響楽曲制作(各3曲)	
11		MIX②	進行別アドバイス⑤仕上げ、eo music楽曲制作⑤ *映像音響楽曲制作(各3曲)	
12		MIX③	進行別アドバイス⑥仕上げ、eo music楽曲制作⑤提出 *映像音響楽曲制作(各3曲)提出	映像音響楽曲提出
13		試験		
14		課題期間1	音響合同ステージ実習	
15		課題期間2	音響合同ステージ実習	

備考

--

2020		ミュージシャン学科		DAW ADVANCE II		杉本 実務経験者	
後期		単位数	授業概要	DAWを使った曲作りのより高度な実践を行う			
		2					
実習授業 (講義授業)		週分	到達目標	楽曲発表			
		15週	成績評価の方法・基準	実技テスト・作品評価			
週	月日	授業項目		授業内容		備考	
1		DAWコン楽曲 S.A.W楽曲		楽曲イメージの構築 MIDIデータ打ち込み①		楽曲ベーシック完成	
2		DAWコン楽曲 S.A.W楽曲		MIDIデータ打ち込み①		楽曲ブラッシュUP アレンジ	
3		DAWコン楽曲 S.A.W楽曲		MIDIデータ打ち込み① VOX_RECディレクション①		楽曲ブラッシュUP レイヤー音色	
4		DAWコン楽曲 S.A.W楽曲		MIDIデータ打ち込み① VOX_RECディレクション②		楽曲MIX① トラックダウン	
5		DAWコン楽曲 S.A.W楽曲		MIX作業① データ編集修正		楽曲MIX② マスタリング	
6		DAWコン楽曲 S.A.W楽曲		最終MIX作業②		DAW楽曲提出 S.A.W楽曲 楽曲MIX完成③	
7		クリスマス楽曲1		制作チェック①		完パケ制作	
8		クリスマス楽曲2		制作チェック②			
9		クリスマス楽曲3		制作チェック③			
10		クリスマス楽曲4		制作チェック④			
11		クリスマス楽曲5		制作チェック⑤			
12		クリスマス楽曲6		制作チェック⑥		楽曲提出	
13		試験					
14		課題期間1		音響合同ステージ実習			
15		課題期間2		音響合同ステージ実習			

備考

--

2020年度		声優学科		言語表現実習		担当 西村 寿一	
種別		開講期	授業概要 到達目標	ナレーションの持つ力と基本を身につける実践 録音して自分の声を認識する授業			
実習授業		前期					
		単位数	使用機材 ソフト				
		2					
		週分	判定方法(試験)				
		15					
週	月日	授業項目		授業内容		備考	
1		「声を出す」		・自分の声を知る。発声をしながら息の入れ方、出方を確認する。			
2		「息」の重要性		・腹式呼吸 ・立ち発声と座った時の息の入れ方			
3		「マイク」と友達になろう		・マイクの指向性と声のバランス ・マイクに声を乗せる			
4		明瞭な滑舌		・言葉の滑舌チェック ・不明瞭な音の確認			
5		音の強弱高低		・強い音と弱い音を理解する。 ・高い音と低い音を出してみる。			
6		CMの世界		・CM録音 ・秒数に関係なく、しっかり読めるかどうかチェック			
7		番組ナレーション		・TVの番組ナレーションを実践する			
8		CMの世界②		・30秒、20秒の各CMを時間通りに録音。			
9		練習すればうまくなる		・文字数の多い原稿を使い、読み込む。			
10		一発録音		・練習して来た原稿を一発録音。 ・あとでチェックして部分録音で修正。			
11		本番で強い自分に		・初見で原稿を読む。すぐに本番 ・ABC評価で判定			
12		前期のまとめ		・各自課題がクリア出来たかチェック。 ・形式のちがう原稿を③種類録音する。			
13		試験					
14		前期末課題①		学科全体の特別課題に取り組む			
15		前期末課題①		学科全体の特別課題に取り組む			

備考

--

2020年度		声優学科		言語表現実習		担当 西村 寿一	
種別		開講期	授業概要 到達目標	各方面で現在作られている番組、企業CM、インフォーマーシャルな訴求に合わせた、ナレーションの位置づけを考え、独創的表現を研究する。			
実習授業		後期					
		単位数					
		2					
		週分	使用機材 ソフト				
		16	判定方法(試験)				
週	月日	授業項目		授業内容		備考	
1		ストレートナレーション		・シンプルなナレーション。 ・感情を入れない事のむずかしさを追求			
2		感情を出し切る		・ここでは感情を乗せないと、絶対に成立しない原稿。			
3		告知ナレーション		・行政サービスなどの告知。専門用語が並ぶ難しい原稿を録音。			
4		出演人数の多いナレーション		・企画型のナレーション役割が明確で重要な物			
5		読みにくいカタカナナレーション		・海外の都市や人物名が入った原稿。			
6		ドキュメントナレーション		・映像の世界をリアル表現。			
7		商品紹介ナレーション		・仕事量の多いナレ。専門的なアクセント用語が多いパターン。			
8		イベントとCMが融合した語り		・語りがキッカケとなり、イベントが動く作品。			
9		ナレーションが進行する作品		・ナレーションが80%以上を支配するインタビュー作品、ドキュメント。			
10		番組ナレーション ①		・子供達の映像を基本に、ナレーターの世界で番組が展開する作品 前半30"			
11		番組ナレーション ②		・中盤30"			
12		番組ナレーション ③		・後半30" ※③週に渡り録音をし評価。			
13		課題演習		発表会課題伝達・スケジュール確認			
14		発表会課題		2月合同発表会に移行・稽古、演習			
15		発表会課題		2月合同発表会に移行・稽古、演習			
16		発表会課題		舞台稽古・リハーサル・本番			

備考

--

2020年度		声優学科		舞台演習		担当 生田朗子
種別		開講期 前期	授業概要 到達目標	自分の体に意識を向け、プロの声に出るボディを作る		実務経験者
実習授業		単位数	4	使用機材	ソフト	
		週分	15	判定方法(試験)	実技	
週	月日	授業項目	授業内容		備考	
1		呼吸の意識	①TAIKAN8(体感・体幹)トレーニング ②声出し詩の朗読			
2		呼吸と感情	①TAIKAN9(体感・体幹)トレーニング ②声出し詩の朗読			
3		呼吸の力	①・②長ゼリフの読み込み			
4		呼吸のコントロール	①・②長ゼリフの読み込み			
5		日本語の音	①・②役作りについて			
6		日本語の響き	①・②気持ちの作り方			
7		ことばと感情	①・②気持ちの表現			
8		‘役’について	①・②ゼリフのやり取り			
9		シチュエーションと役柄	①・②会話のリズム			
10		台本の理解	①・②相手役を感じる			
11		空気を感じる1	①・②シーンをつくる			
12		空気を感じる2	①・②シーンをつくる			
13		発表会課題	スケジュール・イメージ伝達			
14		発表会課題	9月発表会に向けての合同課題に移行・発表会演習			
15		発表会課題	9月発表会に向けての合同課題に委託・発表会演習			

備考

備考	
----	--

2020年度		声優学科		舞台演習		担当 生田朗子	
種別		開講期 後期	授業概要 到達目標	感じる力を育て声で演じるために必要なものを知る (シーンを役を組み立てる中で新しい発見をしてみよう)		実務経験者	
実習授業		単位数	使用機材 ソフト				
		4 週分	15 判定方法(試験)				
週	月 日	授 業 項 目		授 業 内 容		備 考	
1		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 戯曲を読むー(戯曲は前期の様子、男女比など考えて選びます)			
2		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 戯曲を読むー役をチェンジしながら読み合わせ			
3		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 読み合わせ			
4		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) キャストイングして読み合わせ			
5		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 立稽古			
6		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 立稽古			
7		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 各々のグループと動きを考える			
8		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) セリフのやり取りから気持ちのやり取りへ			
9		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 他のグループを見て感想を持つ			
10		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 仕上げーGP			
11		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 1シーンを各々に発表			
12		シーンスタディ		ウォームアップ発声(外郎売り) 戯曲を読むー(戯曲は前期の様子、男女比など考えて選びます)			
13		試験					
14		学年末課題①		学科を超えた共同課題に取り組む			
15		学年末課題②		学科を超えた共同課題に取り組む			

備考

--